

功 績 概 要

※年齢は11月3日時点

【芸術文化分野】 三代 清水 醉月（本名：清水 洋） 76歳 陶芸家

氏は、本県を代表する伝統工芸である萬古焼の研究を重ね、多くの公募展に出品することで、知名度の向上に寄与するとともに、紫泥土を用いたその作品は、三重県を代表する県産品に知事が認定する「三重ブランド」の指定を受けるなど、高く評価されている。

また、その功績が評価され、四日市市文化功労者、三重県文化賞文化大賞、東海テレビ文化賞など数多くの受賞歴を有する。

こうした氏の永きにわたる活動の中で、本県における陶芸の振興発展に果たしてきた功績は極めて大きい。

【芸術文化分野】 錦 かよ子 70歳 作曲家

氏は、大学在学中から、日本音楽コンクール作曲部門で入選、入賞を果たし、昭和55年には、文化庁の舞台芸術創作奨励特別賞を受賞する。その後、ピアノ曲や声楽曲など、多くの作品を全国各地で発表し、特に、長崎の原子爆弾の悲劇を描いた平成25年のオペラ「いのち」は、長崎県や新国立劇場などで上演され、全国的に高い評価を受けた。

また、三重県文化審議会委員、津市文化振興審議会委員を務め、本県における文化振興の発展に寄与してきた。

こうした氏の永きにわたる活動の中で、本県における音楽の振興発展に果たしてきた功績は極めて大きい。